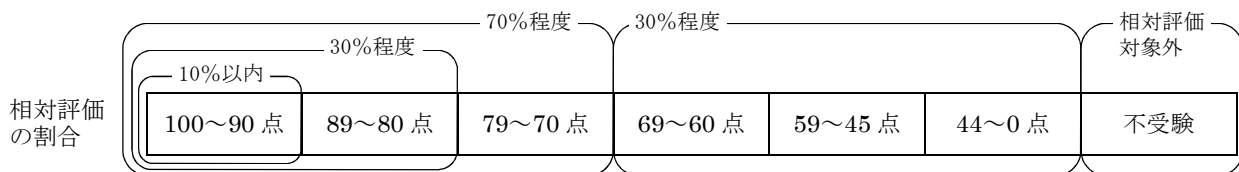


II. 成績

1. 成績通知書には、その学期までの成績を記載する。
2. 成績発表は、春学期科目は9月上旬、秋学期科目と通年科目は3月上旬に行う。
3. 成績は、以下のように表記し、点数は発表しない。また、外国語科目や30名未満の少人数制の科目等を除き相対評価を行う原則であり、評価の割合は、概ね以下のとおりである。

評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～45点	44～0点	不受験
成績証明書 の表記	A+	A	B	C	表示されない		
成績通知書 の表記	A+	A	B	C	F	G	H
合否	合格				不合格		



「TOEFL-ITP®」の成績については以下のように表記する。

P: 必修受験であるTOEFL-ITP®のスコアが基準点（1年次450点、2年次480点、3年次500点、4年次520点）に達した場合、または自己受験によりTOEFL-ITP®基準点（相当）を取得し、そのスコアを期間内に提出した場合

※成績証明書の表記は「P」

Q: 必修受験であるTOEFL-ITP®のスコアが基準点未満または不受験であり、自己受験のスコアを提出しなかった場合

※成績証明書には記載されない。

4. GPAについて

(1) 計算式

科目の成績評価に対してGrade Pointと呼ばれる換算値（A+は4点、Aは3点、Bは2点、Cは1点、不合格は0点）が決められている。

それぞれの「科目の単位数」と「成績評価のGrade Point」の積の総和を「総登録単位数」で割って、スコア化したものがGPA (Grade Point Average)である。

総登録単位数には、不合格科目の単位も含まれる。

これを式で表すと、次のようになる。

$$\frac{(A^+ \text{ 修得単位数} \times 4) + (A \text{ 修得単位数} \times 3) + (B \text{ 修得単位数} \times 2) + (C \text{ 修得単位数} \times 1) + (\text{不合格単位数} \times 0)}{\text{総登録単位数 (不合格科目を含む)}}$$

※GPAは、小数第2位まで表示する。（小数第3位は、四捨五入とする。）

(2) 対象科目

卒業算入対象科目として登録した全ての科目が対象となる。

(3) GPAの通知・証明

GPAは、成績通知書に記載される。

また、GPA対象科目の成績およびGPAが記載された「GPA証明書」を発行する。

なお「成績証明書」には、GPAは記載されない。